

21 大基評第 289 号

2022 (令和4) 年3月30日

福 知 山 公 立 大 学

学長 井 口 和 起 殿

公益財団法人 大 学 基 準 協 会

会長 永 田 恭 介



「改善報告書」の検討結果について (通知)

拝啓 春暖の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本協会の事業推進のため、種々ご協力を賜り、深謝申し上げます。

標記に関し、貴大学からご提出いただきました「改善報告書」につきまして、大学評価委員会及び理事会において慎重に審議を行い、別紙のとおり検討結果をとりまとめましたので、ここに通知申し上げます。

この検討結果を貴大学の一層の改善・向上にご活用くださるよう、お願いいたします。

敬 具

【同封資料】

「改善報告書検討結果 (福知山公立大学)」

※評価の過程を通じ、追加で根拠資料の提出があった場合には、当該資料について

「[3] 各指摘事項に対する改善状況」の「改善状況を示す具体的な根拠・データ等」に追記しております。

以 上

＜ 改善報告書検討結果（福知山公立大学）＞

〔1〕 概評

2017（平成 29）年度の本協会による大学評価において、貴大学に対して、改善勧告として 1 項目、努力課題として 3 項目の改善報告を求めた。これを受けて、貴大学では、「自己点検・評価委員会」を中心に検討を行い、各学部において改善活動に取り組んでおり、改善の認められる項目が確認できる。ただし、以下に示すもののうち改善が不十分な事項については、更なる対応を求める。

改善勧告に関しては、学生の受け入れ（改善勧告 No.1）について、過去 5 年間の入学定員に対する入学者数比率の平均は、地域経営学部全体で 1.08、医療福祉経営学科で 1.09 となっている。また、同学科の収容定員に対する在籍学生数比率は 1.01 となっており、改善が認められる。

一方で、努力課題に関しては、体育館の整備（努力課題 No.1）については、中・長期の将来構想に明記して施設整備に取り組んでいくことにしており、着実に進展させることが望まれる。

以上の事項について、引き続き改善に取り組むとともに、貴大学が掲げる理念・目的の実現のために、不断の改善・向上に取り組むことを期待したい。

〔2〕 今後の改善経過について再度報告を求める事項

なし

〔3〕 各指摘事項に対する改善状況

1 努力課題について

No.	種 別	内 容
1	基準項目	7. 教育研究等環境
	指摘事項	大学内に体育館の施設はなく、隣接する高等学校が所有する体育館を申請により利用できることとなっているが、高等学校側が利用していることが多いなど、学生が十分に活用できない状況にあるので、改善が望まれる。
	評価当時の状況	平成 28 年 4 月 1 日から近隣の高等学校と所有施設利用に係る協定書を締結し、授業に支障がないよう調整し、相互利用を行ってきた。運動場、テニスコートは本学が所有し、体育館、学生駐車場、屋内練習場は高等学校が所有しており、相互利用により施設の有効活用を図っていたが、体育館は

		高等学校の部活動等での利用があるため、学生が自由に活用できない状況であった。
	評価後の改善状況	平成 30 年 8 月 1 日開催の第 1 回自己点検・評価委員会において、認証評価における努力課題への対応方針として、平成 31 年度以降の年度計画に掲げ、改善に向けて取り組むことを決定した。 (資料 1-1-1) 改善に向けた取組みとして、設置者である福知山市と継続的な協議を進めてきたが、学生が十分に活用できる体育館を確保するには、施設整備費の措置が必要なことから、「知の拠点」整備構想（平成 30 年 2 月策定）における施設整備の中で、福知山市とともに、継続的に検討していく事項とした。(資料 1-1-2、資料 1-1-3) 体育館の整備は、令和 3 年 3 月に策定した本学における中長期の将来構想「福知山公立大学将来計画」においても明記し、設置者である福知山市の協力はもとより、民間資本やノウハウの活用、また地域企業などの協力も得ながら、必要な施設整備を検討し、地域に必要とされる大学としてあらゆるセクターと共同した施設整備に取り組むことにした。(資料 1-1-4)
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等 ・資料 1-1-1 平成 30 年度第 1 回自己点検・評価委員会議事録 ・資料 1-1-2 公立大学法人福知山公立大学 2019 年度及び中期目標期間（4 年終了時）の業務実績報告書（69 頁・中期計画番号 66） https://www.fukuchiyama.ac.jp/wp-content/uploads/R1_tyuukimokuhyou_gyomujisseki.pdf ・資料 1-1-3 「知の拠点」整備構想（18 頁） https://www.city.fukuchiyama.lg.jp/uploaded/attachment/7856.pdf ・資料 1-1-4 福知山公立大学将来計画（12 頁） https://www.fukuchiyama.ac.jp/wp-content/uploads/shouraikeikaku.pdf	

No.	種 別	内 容
2	基準項目	7. 教育研究等環境
	指摘事項	図書館である「メディアセンター」において、

		専門的な知識を有する専任職員を配置していないので、改善が望まれる。
	評価当時の状況	平成 29 年度時点で、メディアセンター（図書館）に在籍していた職員は、センター長 1 名（兼務）、事務局専任職員 1 名（兼務）、業務担当者 3 名（臨時職員 3 名）となっていた。業務担当者の内、1 名が司書資格を有しており、学生等利用者への各種サービスの提供や図書登録、資料収集など専門性を有した者により業務が行われていた。 一方で、教育研究に必要な書籍や学術雑誌、資料等は教員から希望の聴き取りにより調達しており、外部機関との連携、学内委員会の調整に関しては、事務局専任職員の業務範囲で行っていたため、専任職員に対して司書資格を求めていなかった。
	評価後の改善状況	平成 30 年 8 月 1 日開催の第 1 回自己点検・評価委員会において、認証評価における努力課題への対応方針として、平成 31 年度以降の年度計画に掲げ、改善に向けて取り組むことを決定した。（資料 1-2-1） 内部質保証システムの方針に基づき、年度業務の結果を自己点検・評価委員会で確認し、事務局で専任職員配置を検討することを求めた。これを受け、事務局では財務基盤のことを考慮し、令和 2 年度の学部設置による定員増に合わせ、司書資格を有する専任職員を同センターへ配置することにした。（資料 1-2-2、資料 1-2-3） 令和 3 年 5 月 1 日時点の職員配置は、センター長（兼務）1 名、事務局専任職員（兼務）1 名、業務担当者 5 名（司書資格を有する専任職員 1 名、臨時職員 4 名（内、司書資格を有する臨時職員 1 名））とし、司書資格を有する業務担当者を 2 名として体制の充実を図った。教育研究に必要な書籍や学術雑誌、資料等の充実、他機関との連携、学生等への図書サービスの充実については、今後も引き続き充実に取り組んでいく。

改善状況を示す具体的な根拠・データ等 ・資料 1-2-1 平成 30 年度第 1 回自己点検・評価委員会議事録 ・資料 1-2-2 令和元年度第 1 回自己点検・評価委員会議事録 ・資料 1-2-3 公立大学法人福知山公立大学 2019 年度及び中期目標期間（4 年終了時）の業務実績報告書（69 頁・中期計画番号 66） https://www.fukuchiyama.ac.jp/wp-content/uploads/R1_tyuukimokuhyou_gyomu_jisseki.pdf ・追加資料 1-2-4 令和 3 年度学校基本調査 ・追加資料 1-2-5 福知山公立大学教職員数（令和 3 年 5 月 1 日時点）

No.	種 別	内 容
3	基準項目	10. 内部質保証
	指摘事項	公立大学法人化する以前に、自己点検・評価が行われていない時期があったうえ、2016（平成 28）年度に実施した自己点検・評価についても、その結果を年度計画等に反映する仕組みを確立していないため、自己点検・評価で抽出された課題等について改善につなげる仕組みを整備し、機能させることが望まれる。
	評価当時の状況	本学の内部質保証体制は、「公立大学法人福知山公立大学自己点検・評価委員会規程」に基づき、自己点検・評価委員会を設置するとともに、「福知山公立大学内部質保証の方針」に基づき法人評価の一連の過程を自己点検・評価を補完するものとして活用し、計画的な改善活動を実施する体制としてきた。 しかし、平成 29 年度の受審時点では、公立大学法人化後 2 年目であったため、自己点検・評価で抽出された課題や法人評価結果を中期計画や年度計画等に反映し、改善・改革に至る成果が十分に上がっていなかった。
	評価後の改善状況	平成 30 年 8 月 1 日開催の平成 30 年度第 1 回自己点検・評価委員会において、認証評価における努力課題への対応方針として、平成 31 年度以降の年度計画に掲げ、改善に向けて取り組むことを決定した。（資料 1-3-1）

	平成 30 年度以降は、各事業年度の法人評価結果の対応状況を社会に公表の上、年度計画への反映を行い、改善活動に取り組んできた。(資料 1-3-2、資料 1-3-3、資料 1-3-4) また、令和 2 年度には、内部質保証システムの見直しを行い、本学としての自己点検・評価の仕組みを改善した。具体的には、内部質保証の方針の改定や内部質保証体制図の作成、自己点検・評価委員会規程の改正、自己点検・評価実施要領の制定を行い、これらに基づき、令和 2 年度自己点検・評価を実施し、継続的な改善活動を行う仕組みを構築した。なお、自己点検・評価で抽出した課題は、令和 3 年度年度計画に反映も行った。(資料 1-3-5、資料 1-3-6、資料 1-3-7、資料 1-3-8、資料 1-3-9)
	改善状況を示す具体的な根拠・データ等 ・ 資料 1-3-1 平成 30 年度第 1 回自己点検・評価委員会議事録 ・ 資料 1-3-2 平成 29 事業年度 業務実績に関する評価結果に対する対応 https://www.fukuchiyama.ac.jp/img/about/information/information11/h29_gyomujissekikekka_taio.pdf ・ 資料 1-3-3 平成 30 事業年度 業務実績に関する評価結果に対する対応 https://www.fukuchiyama.ac.jp/img/about/information/information11/h30_gyomujissekikekka_taio.pdf ・ 資料 1-3-4 令和元年度及び中期目標評価（4 年終了時）に係る業務の実績に関する評価結果に対する対応 https://www.fukuchiyama.ac.jp/wp-content/uploads/R1_gyomujissekikekka_taio.pdf ・ 資料 1-3-5 福知山公立大学内部質保証の方針 https://www.fukuchiyama.ac.jp/wp-content/uploads/naibushitsuoshounohoushin.pdf ・ 資料 1-3-6 福知山公立大学における内部質保証体制図 https://www.fukuchiyama.ac.jp/wp-content/uploads/naibushitsuoshoutaisei.pdf ・ 資料 1-3-7 公立大学法人福知山公立大学自己点検・評価委員会規程 https://www.fukuchiyama.ac.jp/wp-content/uploads/iinkai-jikotenken2101.pdf

・資料 1-3-8 福知山公立大学自己点検・評価実施要領 https://www.fukuchiyama.ac.jp/wp-content/uploads/jikotenken-youryou2012.pdf ・資料 1-3-9 令和 2 年度自己点検・評価書 https://www.fukuchiyama.ac.jp/wp-content/uploads/R2jikotenken-3.pdf ・追加資料 1-3-10 令和 3 年度自己点検・評価の実施方針（案）について ・追加資料 1-3-11 令和 2 年度自己点検・評価結果の令和 3 年度年度計画への反映に係る説明資料 ・追加資料 1-3-12 令和 2 年度自己点検・評価結果の令和 3 年度年度計画への反映状況 ・追加資料 1-3-13 令和 2 年度第 9 回自己点検・評価委員会議事録 ・追加資料 1-3-14 令和 2 年度第 16 回将来計画策定委員会議事要旨 ・追加資料 1-3-15 公立大学法人福知山公立大学令和 3 年度年度計画

2. 改善勧告について

No.	種 別	内 容
1	基準項目	5. 学生の受け入れ
	指摘事項	2017（平成 29）年度において、地域経営学部（大学全体）では、学部全体と医療福祉経営学科で、過去 5 年間の入学定員に対する入学者数比率の平均が、それぞれ 0.85、0.63 と低い。また、同学科は、収容定員に対する在籍学生数比率も 0.63 と低いので、是正されたい。
	評価当時の状況	本学は平成 28 年度に設置者変更による公立大学法人化で福知山公立大学となったが、それ以前は学校法人成美学園が運営していた成美大学であった。 評価当時に提出した資料（平成 28 年度）では、1 年次生 56 名（入学定員 50 名）が成美大学の入試である平成 28 年度入試を経て本学に入学しており、2 年次生から 4 年次生は成美大学に在籍していた学生であった。 成美大学は地元地域においても知名度が非常に低く、度重なる理事長や学長の交代等により、高大間の信頼関係も薄く学生募集は非常に困難な状況に陥っていた。当時の入学者は併設校（福知山

	成美高等学校)からの進学者と部活動(野球部およびサッカー部)に入部することを前提とした部活動経験枠を設けるA0・推薦入試による学生確保を行っていたものの、例年定員を充足するには至っていなかった。このため、過去5年間の入学定員に対する入学者数比率の平均や収容定員に対する在籍学生数比率が低い状況となっていた。
評価後の改善状況	本学が実施する初めての入試として学生募集を開始した平成29年度入試以降は、事務局を中心に積極的に学生募集活動を展開した。例年延べ1,000校程度の高校訪問や高校教員を対象とした説明会、オープンキャンパスなど積極的な学生募集活動を展開してきた。(資料2-1-1、資料2-1-2、資料2-1-3、資料2-1-4、資料2-1-5) これにより過去5年間の志願倍率平均は地域経営学部全体で5.6倍、医療福祉経営学科の同値は7.7倍となり、安定的に志願者数を確保している。(資料2-1-6、資料2-1-7、資料2-1-8、資料2-1-9、資料2-1-10) 入学定員管理は入試委員会において実施し、令和3年度の地域経営学部全体の入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)は、1.08倍と適正な値となっている。また、医療福祉経営学科における入学定員に対する入学者数比率は1.09倍、収容定員に対する在籍学生数比率は1.01倍となり、学生の受け入れに関する状況は改善されたと言える。
改善状況を示す具体的な根拠・データ等 ・資料2-1-1 平成28年度の学生募集の取組み【平成29年3月16日教育研究審議会資料抜粋】 ・資料2-1-2 平成29年度の学生募集の取組み【平成30年3月15日教育研究審議会資料抜粋】 ・資料2-1-3 平成30年度の学生募集の取組み【平成31年3月11日教育研究審議会資料抜粋】 ・資料2-1-4 令和元年度の学生募集の取組み【令和2年3月25日教育研究審議会資料抜粋】	

	・資料 2-1-5 令和 2 年度の学生募集の取組み【令和 3 年 3 月 18 日教育研究審議会資料抜粋】 ・資料 2-1-6 平成 29 年度福知山公立大学（地域経営学部）入試実施状況表 https://www.fukuchiyama.ac.jp/img/admission/result/2017/data00.pdf ・資料 2-1-7 平成 30 年度福知山公立大学（地域経営学部）入試実施状況表 https://www.fukuchiyama.ac.jp/img/admission/result/2018/data.pdf ・資料 2-1-8 令和元年度福知山公立大学（地域経営学部）入試実施状況表 https://www.fukuchiyama.ac.jp/img/admission/result/2019/data.pdf ・資料 2-1-9 令和 2 年度福知山公立大学（地域経営学部）入試実施状況表 https://www.fukuchiyama.ac.jp/img/admission/result/2020/data.pdf ・資料 2-1-10 令和 3 年度福知山公立大学（地域経営学部・情報学部）入試実施状況表 https://www.fukuchiyama.ac.jp/wp-content/uploads/67205fdlccd090aa663a0fe9f9341d03-3.pdf ・資料 2-1-11 大学基礎データ表 3・表 4
--	--

以 上